※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１３

令和８年度　美術科

教科	美術	科目	素材体験	単位数	２単位	年次	３年前期
使用教科書	なし						
副教材等	ワークプリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・視て感じる、感じて創ることを基本に踏まえるべき手段を経て徐々に個のものとなっていく過程を実感します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩・構成などについて着目して、感じ方や見方、表現を深めていきましょう。様々な表現や感じたことを共有すると、更に広がったり深まったりします。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。
（１）対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
（２）造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、様々な素材の特性などについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもっての美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
（３）主体的に多様な素材の幅広い創造活動に取り組む態度を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	素材の特性に合わせた技術を習得し、様々な道具の扱いについても学び、適切な課題に適切な技術を用いることができるようにする。創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表現できるようにする。	テーマや課題物について、イメージや考えを膨らませ、表現できる。感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練り、自己の価値観を高めて美術作品などの表現の工夫や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	紙のランプシェード	・完成作品を鑑賞する。 ・完成図のアイディアスケッチをし、折り方を工夫して紙のランプシェードを制作する。	a:造形の要素の働きを理解している。造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 b:造形的な要素などの効果的な生かし方について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 c:主体的に表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	課題作品	課題作品 アイディアスケッチ	作品レポート
	空き缶プチミラー	デザインをもとに、空き缶を切って加工し、プチミラーを制作する。	a:造形の要素の働きを理解している。主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 b:造形的な要素などの効果的な生かし方について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 c:主体的に表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている	課題作品	課題作品 アイディアスケッチ	作品レポート
後期後半	陶芸制作	実際に使用する陶器を制作する。 手びねり ろくろ 素焼き 釉薬掛け 本焼き	a:造形の要素の働きを理解している。造形的な特徴などを基に、質感の違いなどを理解している。 b: 自然や自己、社会などを深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成している。主題に応じて表現形式について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 c:主体的に立体作品の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	課題作品	課題作品 アイディアスケッチ	作品レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度